

申請書情報に関する注意事項

⑧ 学 歴

(学部・修士)

(例 1)

1. 2022年 3月 東京大学 法学部卒
2. 2022年 4月 東京大学大学院専門職学位課程入学
(公共政策学教育部 公共政策学専攻)
3. 2025年 3月 東京大学大学院専門職学位課程修了
(公共政策学教育部 公共政策学専攻)

公共政策大学院の場合は「専門職学位課程」

公共政策大学院の場合は「公共政策学専攻」
※コースではない

(例 2)

1. 2022年 3月 東京大学 経済学部 経済学科卒
2. 2022年 4月 東京大学大学院修士課程入学
(経済学研究科 経済専攻)
3. 2025年 3月 東京大学大学院修士課程修了
(経済学研究科 経済専攻)

経済学研究科や法学政治学研究科の場合は「修士課程」

⑨ 博士の状況

(例)

入学年月	(西暦) 2024年4月 入・進学	入学月は「4月」または「9月」
編・転・再入学時の 在学期間換算	0年0ヶ月	
大学院名	12601	「東京大学」のコード「12601」を入力
研究科名	0214 公共政策学連携教育部	公共政策大学院の場合はコード「0214」を入力すること。
専攻名	国際公共政策学	公共政策大学院の博士課程の専攻名は「国際公共政策学」
課程種別	博士課程 (3年制)	
博士在学期間中の 休学期間	0年0ヶ月	
(西暦) 2025年4月1日 時点における博士在学期 間累計 (休学期間を除く)		

⑫ 現在の研究指導者

≪DC1に申請する場合≫

申請者が現在公共政策大学院専門職学位課程に所属する場合、この欄に記入すべき「学籍上の指導教員」は存在しないため、「直近の研究指導者」を記載する必要がある。事前に公共政策学務チームに記載する指導者について確認すること。

≪DC2に申請する場合≫

この欄に記載する「学籍上の指導教員」は主たる指導教員（main supervisor）を指す。副指導教員（collaborative supervisor）は記載できない。

⑫ 現在の研究指導者

共通

⑬ 採用後の受入研究者

(例)

氏名	(フリガナ) ホンゴウ タロウ (漢字等) 本郷 太郎
職名	教授
研究者番号	XXXXXXXX
所属機関	東京大学 (12601)
部局	0214 公共政策学連携教育部
連絡先	xxxx@xx.u-tokyo.ac.jp

職名以外は入力しない

「東京大学」のコード「12601」を入力

事前に教員に「本務先」部局を確認すること
公共政策大学院の場合はコード「0214」を入力すること。

◆◆特別研究員奨励費へ応募する場合の注意事項◆◆

「採用後の受入研究者」の「部局」欄には本学における「本務先」を入力する必要があり、その情報は特別研究員奨励費の応募情報の「受入部局」に表示されます。

場合により、特別研究員採用後の申請者所属と特別研究員奨励費の受入部局が一致しないケースがありますが、問題ありません。

特別研究員奨励費が採用された場合、執行管理は受入研究者の本務先部局が担うためです。

⑭ 採用後の申請者所属研究科正式名称

0214
公共政策学連携教育部

採用後の所属が公共政策大学院の場合はコード「0214」を入力すること。